



事業名	～東京 2020 大会に向けて～ 港区は「落書きゼロ」をめざします！		
-----	--	--	--

ここがポイント	東京 2020 大会までに区内の落書きをなくし、落書きのない「安全で安心できる港区」に世界中からの来訪者を迎えるため、「把握→消去→再発防止」の3ステップのうち、 消去と再発防止のための取組をさらに強化 します！	予算額	9,172千円
		区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 臨時 (<input type="checkbox"/> 新規・ <input type="checkbox"/> 継続) <input checked="" type="checkbox"/> レベルアップ

概要	<p>落書きは犯罪（刑法第 261 条「器物損壊罪」）であり、放置されているとまちの美観を損ね、区民等の不安感を増すばかりか、新たな犯罪を誘発する恐れさえあります。</p> <p>区は昨年 7 月から 8 月の間に区民、事業者、区内警察署等関係機関の協力を得て落書きの実態を集中的に調査し、その結果を踏まえ、落書き消去支援制度や区民、事業者、関係機関と協働した落書き消去キャンペーン等により消去に取り組んできました。</p> <p>東京 2020 大会をいよいよ来年に控え、ラグビーワールドカップ 2019 が開催される平成 31 年度、落書きをなくすための取組をさらに強力に推進します。</p>		
	<p>落書き集中調査(平成 30 年 7 月 11 日～8 月 31 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆落書きの場所・形状、落書きがある建物等の情報を調査 ◆区内で 1,121 件の落書きを把握 <p>※「落書き調査員」を活用し集中的に調査を実施するのは 23 区初の試みでした。</p>		
	<p>迅速な消去</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>レベルアップ</p> <p>落書き消去支援制度の充実</p> <p>調査で把握した落書きの消去を更に加速するため、消去事業者派遣の規模を大幅に拡充し、区民、事業者等に向けた落書きの消去支援制度を充実します。</p>  <p>消去事業者作業イメージ</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>落書き消去活動の継続的な実施</p>  <p>区民、事業者、関係機関と協働し、キャンペーン等により落書き消去活動を積極的に推進します。</p> </div> </div>		
	<p>再発の防止</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>新規 23 区初！</p> <p>落書き対策防犯カメラ 無償貸与事業</p> <p>落書きの再発を防止するため、落書きが繰り返されている場所の所有者又は管理者である区民、事業者等に対し、区が防犯カメラを無償で貸与し設置まで支援する事業を新たに実施します。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>落書きを許さない意識醸成の取組</p> <p>落書きを許さないまちづくりに向け、落書き禁止ポスターに加え、落書きの消去後に区民等の取組により消去したことをアピールするシールを貼付します。</p>  </div> </div>		



調査風景



消去事業者作業イメージ



区民、事業者、関係機関と協働し、キャンペーン等により落書き消去活動を積極的に推進します。



問合せ	課長	危機管理・生活安全担当	滑川 (なめかわ)
	☎	03-3578-2533	(直通)
問合せ	係長	防災課生活安全推進担当	安藤
	☎	03-3578-2272	(直通)